

志津公民館

志津地区の概要

志津地区は、佐倉市の行政区域の西部に位置し、昭和２９年の町村合併による旧志津村の行政区域が現在の志津地区となっている。

なお、宅地開発等により地域人口が年々増加し、平成２５年３月末現在では、佐倉市の総人口１７５，６９０人に対し志津地区の人口が７５，４２７人となっており、その割合は４２．９％であり、市内の地区別における居住人口の最も多い地区となっている。

また、京成電鉄が中央部を東西に走り、駅前（志津駅・ユーカリが丘駅）を中心に街並みが整備され、首都圏のベッドタウンとして開発が進んでいる。ユーカリが丘駅前には、複合型大規模商業施設が並びペDESTリアンデッキ（立体遊歩道）で結ばれるなど、近代的な街づくりへと生活環境などが発展してきている。

しかし、市街化区域を一步外れると田園風景が広がり自然豊かな環境が残る地区となっている。

志津公民館は昭和４８年１０月に開館し、京成志津駅から徒歩５分の立地にあり、多くの地域住民に利用され生涯学習の拠点となっている。

また、志津地区の公共施設では「志津コミュニティセンター」「志津図書館・分館」「西志津ふれあいセンター」「西部保健センター」「志津児童センター」「北志津児童センター」など、施設整備が推進され住民福祉の向上が図られている。

管 理 ・ 運 営 の 部

1. 公民館運営計画

運営方針

佐倉市立公民館運営の基本理念を踏まえ、地域の実態や動向に立脚し、住民の自主活動を育て援助しつつ郷土づくりの意識を一層高める。

また、各人の生活課題をみつめ、生涯学習の場としての適切な運営に努める。

努力目標

- 多様な学習機会の提供をはじめ、住民の幅広い学習活動の支援。
- 学校を含めた関係機関との有機的な連携による事業の推進。
- 学習した成果が地域社会に還元され、地域の人材が活用される環境づくりの醸成。

事業内容

1. 学級講座の開設

家庭教育と郷土学習を中心とした学級講座の内容充実。

2. グループや団体の育成援助

公民館での学習活動や地域でのグループ活動の意義を理解する自主グループの育成援助。
子ども会育成会をはじめ、青少年の健全育成を推進する各種団体への援助と相互連携。

3. 広報活動

市民への情報提供や意見交換の場としての公民館だよりの発行と各種情報資料等の収集整備と提供。

4. 図書活動

郷土学習などを中心とした図書の整備と館外貸し出し、及び図書館との連携。

5. 施設の提供

原則として2か月前の月始めの日から使用申込みの予約を受け付け、使用許可書を交付する。

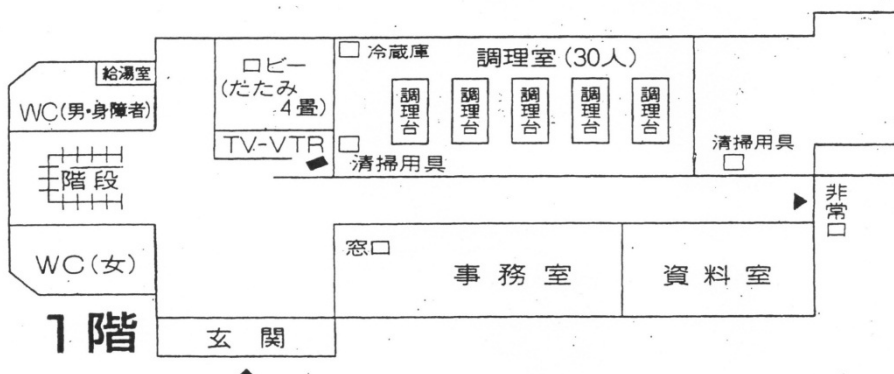
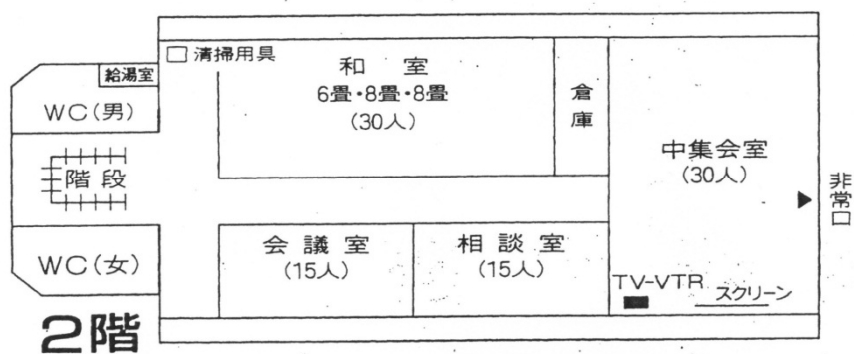
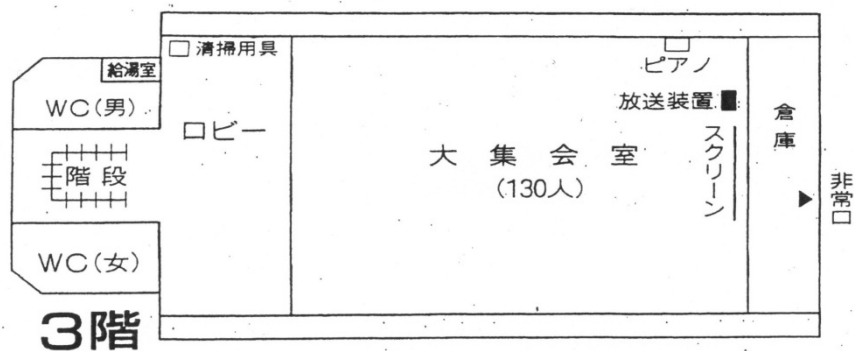
- ・開館日時
- ① 月・火・日曜日、祝日 9時～17時
 - ② 水・木・金・土曜日 9時～22時（当分の間21時まで）
- *夜間の使用申込がない場合は17時で閉館

- ・休館日
- 第2・第4月曜日 及び 年末年始 12月28日～1月4日

2. 公民館利用状況

年度別利用状況

区 分	平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度
利用件数 (件)	4,661	4,447	4,281	4,262	4,311
利用人数 (人)	62,313	57,961	54,865	57,344	56,335
開館日数 (日)	333	333	333	333	333



事業の部

領域	事業名	内 容	対象・人数	期間・回数
家庭教育	お母さんと遊ぼう	親子のふれあいを通して、親子遊びの中から、幼児の自主性と豊かな心を育てると共に、親が地域で仲間づくりを図った。	2歳児と母親 31組63人	6月～12月 18回
	笑顔で子育て講座	子育て中の保護者と子どもを対象に、親子のふれあいを図り、日本文化の茶道を体験した。	小学生と保護者 12組18人	7月29日 3月2日 2回
青少年教育	佐倉っ子塾 子どもクッキング教室	佐倉の地域素材をおりまぜながら、体験学習等を通して、子どもたちの「つくる楽しさ」「わかる喜び」「できる自信」を育み、交流の場と仲間づくりの機会を提供した。	小学生高学年 14人～21人	6月～12月 4回
	佐倉っ子塾 子ども手作り工房		小学生低・全学年 8人～23人	6月～12月 4回
	佐倉っ子塾 子ども理科実験教室		小学生低・高学年 10人～17人	6月～11月 4回
	佐倉っ子塾 子ども自然教室		小学生低・高学年 7人～33人	5月～11月 4回
	ちょこボラ (公民館でちょこつとボランティア)	青少年が職場体験学習をすることで、地域のひととのふれあいや公民館で働く職員と接することを通して、社会的自立や豊かな人間性を育むことを期待する。	中学生 2人 高校生 2人	7月～3月 5回
成人教育	しづ市民大学 しづ学入門	郷土の成り立ちについて学び、郷土愛を育み、より良い地域づくりを考えた。	成人 40人	5月～2月 22回
	しづ市民大学 地域健康学	健康管理を対象として学習し、地域住民と連携し健康増進を図った。	成人 40人	5月～2月 19回
	しづ市民大学 くらしの情報学	日々のくらしに役立つ情報を学び、安全で快適かつ心豊かな生活を送ることを目指した。	成人 40人	5月～2月 19回
	しづ市民大学 おやじの食事学	料理の技術を学びながら、食の大切さを考え、仲間作りと地域の交流を図った。	成人 30人	5月～2月 20回

成人教育	佐倉学入門講座 「井野長割遺跡」を学ぶ	郷土の歴史・自然・文化にふれ、わがまち佐倉を知り、地域への親しみと愛着を育むとともに、講座を通して地域人材の育成と地域団体との連携を深め、地域の教育活動の促進を図った。	成人 20人	2月 4回
	佐倉学入門講座 佐倉道を歩く (佐倉・城下町 400 年記念事業)	記念事業として、城主の歩いた「佐倉道」を実際に歩き、城下町佐倉のことや佐倉道について史跡などから学び郷土愛を育てた。	成人 38人	10月～11月 2コース 各 5 回
	学びあい講座 コミュニティ食堂、作ってみませんか？	地域の住民が共に生き、支え合うことができる場である「コミュニティ食堂」を志津地区に手作りできるか考えた。(市民講師の企画に基づき、開設。)	成人 16人	2～3月 3回
団体育成	第39回 志津公民館祭	学習成果の発表や展示を通して、地域の交流の場作りや学習機会の提供を行った。	志津公民館 利用グループ 103団体	10月19日・ 20日・21日 の3日間
	グループ運営研修会	グループ活動の意義、運営の方法を学ぶことから、自主性を高め、地域活動を考える場とした。	志津公民館 利用グループ 123団体	4月20日 1回
	調理室利用者懇談会	調理室の効果的利用方法を考えるとともに、懇談を通して利用グループ間の交流を図った。	志津公民館 調理グループ 22団体	6月18日 1回
	志津地区子ども会 育成会連絡協議会	各種事業への援助と育成を通じて、健全な発展を目指した。	志津地区の安全会 加入子ども会 12団体	通 年
	志津ジュニア・リーダーズ・クラブ (志津 J L C)	「志津 J L C」の行う各種事業への支援を通じて、ジュニアリーダーの養成を図った。	活動団体	通 年
広報活動	公民館だより 「しづ」の発行	志津公民館事業の案内、意見・情報等を提供し、公民館活動への理解と認識を深めた。	志津地区新聞折込 並びに公共施設に 配架掲示	5月1日号 10月1日号 1月15日号 全 3 回
図書	図書等の貸し出し	地域団体や公民館で作成したビデオや図書の貸出し業務を行うとともに、佐倉市民へ情報提供した。	地域住民	通 年 貸出は 14 日以内

1. 家庭教育事業

お母さんと遊ぼう

- 開設趣旨 「元気で良い子に育ってほしい」という願いは、どの親も共通した願いである。
2歳児は、自我が目覚める年齢。子どもの目線に立って一緒に考えてあげましょう。
小さなことも、できたら、十分抱きしめて、ほめてあげましょう。
この講座は、子どもの成長を見守り、子と親が共に成長する「育自」を体験する母親のための講座である。
親子のふれあいを通して、幼児の自主性と豊かな心を育て、親同士の交流をはかり、地域の中で子育てを考える。

○対象・人数 2歳児と母親31組 63人

○期間・回数 平成24年6月8日～12月14日 18回

- 学習目的 1. 幼児の自主性と豊かな心を育む。
2. 母親が「育児は育自」であることを体験し、今後の子育てに生かせるようにする。
3. 参加者の交流を深め、子育ての喜びや悩みを共有する地域の仲間づくりを図る。

○指導者 蓮 淳子（幼児教育研究家）他

○ プログラム

	月 日(曜日)	学習テーマ	学習内容	指導者	参加人数
1	6月8日 (金)	地域で助け合い育児 開講式・笑顔で記念写真	お母さんのひざでキャキャ の笑い声いっぱい先輩ママか らの体験メッセージ	蓮 淳子 (幼児教育研究家) 昨年度受講生	59人
2	6月15日 (金)	自然体験 さつまいも大好き	畑に行ってサクサク！汚れ てもイイねお母さんと一緒に さつまいもの苗植え	蓮 淳子 (幼児教育研究家) 石川 ヨシエ	57人
3	6月29日 (金)	グループで仲良くおにぎ り持って遠足に行こう	コアラのモノレールに乗っ てガタゴトお散歩	蓮 淳子 (幼児教育研究家)	55人
4	7月6日 (金)	七夕飾りでキラキラ星様 がいっぱい	笹の葉サ～ラサラ・七夕の飾 りで夜空を飾ろう	蓮 淳子 (幼児教育研究家)	55人
5	7月13日 (金)	手作りおもちゃで遊ぼう	お手玉や布を使って昔遊び グループ遊びの発表しましょ	蓮 淳子 (幼児教育研究家)	45人
6	7月22日 (日)	お父さんと一緒にヨーガ	お父さんとヨーガでリフレ ッシュ	川村 淳司 (ヨーガインストラクター)	29人

7	8月3日 (金)	お母さんだ〜い好き	呼吸法ヨーガでお母さん美しく牛乳パックで魚釣りおもちゃづくり	蓮 淳子 (幼児教育研究家) 平井 美鈴	40人
8	9月7日 (金)	親子で造形あそび	読み聞かせボランティアさんと一緒に	中島 浩子	55人
9	9月21日 (金)	自然体験 さつまいもを収穫しよう	畑に行こう！「大きくなったかな」自分で植えたさつまいもの収穫祭	蓮 淳子 (幼児教育研究家) 石川 ヨシエ	55人
10	9月28日 (金)	食生活改善推進と習慣	幼児期の栄養とバランス 楽しい簡単おやつを食べよう	食生活改善推進員	36人
11	10月5日 (金)	遠足に行こう 秋を探そう	草ぶえの丘でペッタンぺたん餅つき体験	蓮 淳子 (幼児教育研究家)	40人
12	10月12日 (金)	おやこで造形あそび	手形粘土で思い出の作品づくり	蓮 淳子 (幼児教育研究家)	40人
13	10月26日 (金)	野外で遊ぼう	上座総合公園でおもいっきりかけっこ	蓮 淳子 (幼児教育研究家)	49人
14	11月2日 (金)	子どもを守ること	大きくなったね、成長への気づき	大和田イエ子 (幼児教育研究家)	34人
15	11月9日 (金)	リズムであそぼう	親子体操を通して発達と成長を考えてみましょう	蓮 淳子 (幼児教育研究家)	31人
16	11月17日 (土)	お父さんと遊ぼう	ウルトラマンお父さんとパワフルに	蓮 淳子 (幼児教育研究家)	28人
17	12月7日 (金)	クリスマス飾りと 伝承遊び	昔の遊びとグループ発表の準備	蓮 淳子 (幼児教育研究家)	36人
18	12月14日 (金)	クリスマスお楽しみ会 閉講式	グループ発表と地域みんなで子育て	蓮 淳子 (幼児教育研究家)	51人

○講座を終えて

家庭教育事業として、2歳児とそのお母さんを対象に、親子遊びを通して親子のふれあいを図り、子育てに日々頑張っているお母さんの情報交換と地域の仲間づくりの場となることを目指して、本講座を実施した。5月の開講式には、昨年度の参加した先輩お母さんと呼んで、地域での仲間づくりについて、グループで話し合った。親同士の交流を図るため、子育てやしつけについて、悩み等を話し合う場と班毎の発表する時間を講座の最後の時間帯に10分間設定した。受講生のアンケートから、話し合いの時間を多くとって欲しいとの意見があり、情報交換の場を拡充する目的から、今後検討していきたい。

今年度、新たな試みとして、5月の夏休み中には、郷土料理の祭り寿司をボランティアさんに巻いてもらい、お母さんとお子さんに食べてもらった。郷土料理の伝承の一助になることを望む。また、新規に行った内容は、コアラのモノレールで先崎の古道をお散歩し、お母さんのヨーガとお父さんとのヨーガを取り入れ

て、それぞれの心と体のリフレッシュを図り、自らを見つめる機会とした。お母さんの感想では、「モノレールに乗って、良く歩き、志津の古道の発見となり、また、家族で歩きたい」や「お母さんヨーガは、時間が少ないので、もっと増やして欲しい」との意見があった。お母さんヨーガについては、子どもと母親を別室で2部構成の実施から、短時間となった。今後、同室での実施を検討したい。11月には、消防士さんと呼んで子どもの安全についての学習をした。具体的には、子どもの怪我や病気の対処について、たくさんの質問があり、「怪我の時には、すぐ水道の流水で洗うこと」など、学習の機会となった。今年度、下の子の参加家族が4組あり、同じ大部屋の片隅に寝ている状況から、安全を確保するため、下の子（乳児）の保育ボランティアを自治人権推進課へ依頼し、9月から実施し、「活動が集中して、行える」と、好評だった。

来年度、親子のふれあいを通して、幼児の自主性と豊かな心を育て、親同士の交流する機会を設定し、地域の中で、子育てを考える講座にしていきたい。

笑顔で子育て応援講座「親子で楽しい茶道体験」

○開設趣旨 親子を対象に、子どもが健全に育つための、家庭教育講座。日本古来の文化を体験することにより、親子のふれあいを図り、文化を伝承する。

○対象・人数 小学生の子どもと保護者 12組 18人

○期間・回数 平成24年7月29日 平成25年3月2日 2回

○学習目的 1. 親子で茶道を体験することで、親子のコミュニケーションを図る。
2. 日本古来の作法を親子で学び、体験することで文化を継承する。

○指導者 小林 由紀子（日本文化研究家）

○講座を終えて

現代、各家庭において、欧米化が進行し、和室が無い家や大人が和室で座ることも少なくなった。現在、子どもが和室で過ごすことが多くない。そこで親子で日本文化を継承することが大切なことと考え、茶道の体験講座を、親子対象で実施した。笑顔で子育て応援講座は、働く親の参加を可能とするため、親子を対象に日曜日に実施した。講座の場にいなかった父親や兄弟に教えたり、作法を思い出し、親子で教え合ったり、家庭や地域で話題になってほしいと願う。子どもたちの感想は、「和室でゆっくり歩くところが勉強になった」「お茶がおいしかった」「抹茶をいただけたところが楽しかった」等で、親の感想は、「日本文化に触れ、講師のお話が楽しかった」「和室と抹茶をいただき、心が落ち着いた」「礼儀作法が覚えられて、楽しかった」であった。

来年度、子育ての学習の機会を提供し、文化を伝承する体験講座を実施し、講座を終了した後も、家族団らんの場で話題になり、親のふれあいを図るような講座を実施していきたい。

2. 青少年教育事業

佐倉っ子塾 「子どもクッキング教室」

○開設趣旨 地域住民の協力のもと、季節に合わせた料理作りを通じて、自分の手で作る喜びを学び、食への関心を高める。

○対象・人数 志津地区在住の小学生（高学年） 人数は下記参照

○期間・回数 平成24年6月17日～12月9日 4回

○学習目的 1. 自分たちの手で料理を作り上げることによって、料理の楽しさと大切さを実感してもらう。
2. 地域の大人たちを講師に迎え、世代間交流を図る。
3. 地元の素材を取り入れ、地域への関心を高める。

○指導者 おやじの食事学同好会

○プログラム

回	月日(曜日)	学 習 テ ー マ	学 習 内 容	指 導 者	参加者数
1	6月17日 (日)	佐倉風手打ちうどんを作ろう	うどんを麺から作ることで、作る喜びを感じてもらう	おやじの食事学同好会	21人
2	7月22日 (日)	ハンバーグランチでお昼ごはん	主食・主菜・副菜のそろった食事を作る	おやじの食事学同好会	19人
3	10月28日 (日)	佐倉風カレー×グラタンで、どんな味？	料理のアレンジを通じて、創意工夫を育む	おやじの食事学同好会	14人
4	12月9日 (日)	ほくほく♪ 中華まんを作ろう	普段は購入してしまうものを作る	おやじの食事学同好会	21人

○講座を終えて

子どもたちに料理の楽しさや食事の大切さを学んでもらうため、地域の大人の協力を得ながら全4回を実施した。「佐倉風手打ちうどんを作ろう」では、うどんを麺も含めて一から作った。うどんの具には佐倉の特産品である豚肉とヤマトイモを使い、地元で収穫される食材についても子どもたちの関心を高めた。「ハンバーグランチでお昼ごはん」では、子どもが好きな料理であるハンバーグをメインとして、ワンプレートランチを作った。自分たちの好きなメニューを作り、盛り付けまで工夫することで、料理の楽しさを実感した。「佐倉風カレー×グラタンで、どんな味？」では、実施後のアンケートで作りたい料理として挙げられていたカレーとグラタンを組み合わせ、カレーグラタンを作った。よく知られている料理を組み合わせた料理を作ることで、簡単な工夫と発想で美味しい料理ができることを体験した。「ほくほく♪ 中華まんを作ろう」では、学校や家ではあまり作らない中華まんを作り、普段は購入する食べ物でも自分たちで手作りできることを体験した。

子どもたちは調理だけではなく、別の小学校の子どもや講師の大人たちとの交流も楽しんでいた。しかし、打ち解けてきた頃に講座が終了となってしまったため、今後は講座の早い段階で交流が深められるよう、工夫したい。

佐倉っ子塾 「子ども手づくり工房」

○開設趣旨 佐倉の地域素材を織り交ぜながらの体験や学習を通して、子どもたちの「つくる楽しさ」「わかる喜び」「できる自信」を育む。

○対象・人数 志津地区在住の小学生 人数は下記参照

○期間・回数 平成24年6月10日～12月2日 4回

○学習目的 1. 手工芸を通じて子どもたちの「創意工夫」の心を養う。
2. 地域の大人たちを講師に迎え、世代間交流を図る。

○指導者 さくらっ古（語りべの会）・スケッチブック・佐倉っ子工芸クラブ
(公民館サークル・同好会)・佐倉こどもかるた ^{しってるかい} 子都手留会

○プログラム

回	月日(曜日)	学 習 テ ー マ	学 習 内 容	指 導 者	参加者数
1	6月10日 (日)	佐倉の昔話と絵	佐倉の民話を聞き、イメージをはがきに描く	さくらっ古 スケッチブック	14人
2	7月15日 (日)	牛乳パックで作ろう、船	身近にある牛乳パックのリサイクルを利用して、水に浮かぶ船を作り、遊ぶ	佐倉っ子 工芸クラブ	23人
3	11月18日 (日)	楽しい折り紙講座	日本伝統工芸である折り紙を学ぶ	つぼみの会	21人
4	12月2日 (日)	佐倉こどもかるたで佐倉を学ぼう	昔ながらの手作りのかるたで佐倉の文化を学ぶ	佐倉こどもかるた 子都手留会	8人

○講座を終えて

子どもたちに地域の身近な地域の人たちとふれあいを通して、手工芸に触れることや手づくりの良さと感じわいを知ることにより、作る楽しさを体験する講座とした。講師は、スケッチブックとつぼみの会、さくらっ古、佐倉こどもかるた子都手留会と佐倉っ子工芸クラブのメンバーは、志津公民館で定期的に活動しており、地域の小学校や児童センターや草ぶえの丘等で出向き、日頃から、子どもたちと触れ合っている。

テーマ「佐倉の昔話と絵」の子どもたちの講座参加のきっかけは、「おもしろそうだから」「絵を描くの

が好きだから」等で、感想は、「昔話のたんたん山が楽しかった」「昔ばなしが覚えられて楽しかった」「絵を描くのが楽しかった」など、楽しかった子どもが多くいた。テーマ「牛乳パックで作ろう、船」の子どもたちの感想は、「ひもを結ぶところを頑張った」「帆を作るところが楽しかった」「船を作って遊び、プールで動かすのが楽しかった」など。子どもたちは、作る過程で頑張った子が多く、自分で作ったもので遊び、楽しんだ。テーマ「楽しい折り紙講座」の子どもたちの感想は、「おばあさん先生と一生懸命折り紙を折ってすごく楽しかった」「同じものを何個か作って箱になったのがスゴイ！」「難しかったけどできたときは、嬉しかった」次回の希望を聞くと、「立体的なものをいろいろ作りたい」と難しいことに、挑戦し、意欲をみせた。テーマ「佐倉こどもかるた」は、子都手留会のメンバーが子どもたちに「佐倉の郷土や文化を学び、自分が育った佐倉を愛して欲しいと願い、市内の小学校の子どもたちへボランティアの出前教室を実施している。子どもたちの感想は、「佐倉のことをいろいろ知ることができ、良かった」「佐倉かるたの絵札を全部取ってみたい」「読み札を全部読んでみたい」など興味と関心を高め、意欲的な感想があった。

今年度から対象を小学生の低学年や高学年と限定せず、全学年対象とした。来年度以降も学年や学校と超えての地域交流を推進していきたい。

佐倉っ子塾 「子ども理科実験教室」

○開設趣旨 身近な素材を活かし地域住民の協力を得ながら、子どもたちに「ふしぎな世界」への挑戦と発見を体験する機会を提供し、科学・理科の楽しさを伝え「つくる楽しさ」「わかる喜び」「できる自信」を実感することで、青少年の自主性と健全育成を図る。

○対象・人数 志津地区在住の小学生 人数は下記参照

○期間・回数 平成24年6月3日～11月11日 4回

○学習目的 1. 身近な素材を活かし、子ども達に「不思議な世界」への挑戦を体験してもらう。
2. 科学・理科の楽しさを伝え「つくる楽しさ」「わかる喜び」「できる自信」を実感することで、自主性と健全育成を図る。

○指導者 自然科学の会・自然科学18同好会（公民館サークル・同好会）

○プログラム

回	月日(曜日)	学 習 テ ー マ	学 習 内 容	指 導 者	参加者数
1	6月3日 (日)	空気砲で遊ぼう	空気砲・空き缶つぶしにより空気のふしぎを体験。	自然科学18同好会	11人
2	6月26日 (日)	花火の万華鏡を作って楽しもう！	光のふしぎ（屈折・色・エネルギーなど）を学び、万華鏡を作ってふしぎを体験。	自然科学の会	15人
3	11月6日 (日)	空気砲で遊ぼう パートⅡ	空気砲・空き缶つぶしにより空気のふしぎを体験。	自然科学18同好会	10人

4	11月11日 (日)	電気自動車をつくって 遊ぼう	くだもの電池を作って実験・模型自動車を作って走らせて遊び体験。	自然科学の会	17人
---	---------------	-------------------	---------------------------------	--------	-----

○講座を終えて

この講座は『佐倉っ子塾』講座の一つとして、今年度は小学生（低学年）を対象に理科系の体験学習の場を提供した。「空気砲で遊ぼう」では、空気砲と空き缶つぶしを実施した。普段見ることのできない空気の動き、圧力を体験することできた。「花火の万華鏡を作って楽しもう」では、光の反射について学び、自分だけのオリジナル万華鏡を作り、作ることの楽しさを実感できた。「電気自動車で遊ぼう」では、くだものを使って発電して不思議を体験し、模型自動車を製作し電気のメカニズムを学んだ。全体的には、ふしぎな世界を感じながら探究心や想像力・発想力などを培い、新しい仲間と「ふしぎなこと」について話し合いをする中で地域の友だちを増やすことができた。講座後の感想は「楽しかった」「もっと科学のいろいろなことをやってみたい」などであった。

なお、実験教室の指導に協力していただいた「自然科学の会」と「自然科学18同好会」の皆様による万全を期した準備と熱意により、不思議で楽しい体験となり、大変充実した講座が展開された。今後においては、子どもたちの生活の中にある身近な「ふしぎ」についてをテーマとして、実験・体験・工作教室などを継続的に展開して開設趣旨の実現を目指したい。

佐倉っ子塾 「自然教室」

○開設趣旨 地域の自然にふれ、子どもたちに自然を舞台に新しい発見を体験する機会を提供し、自然の中で遊ぶことの素晴らしさ、楽しさを実感することで青少年の健全性を育む。

○対象・人数 志津地区在住の小学生 人数は下記参照

○期間・回数 平成24年5月20日～11月4日 4回

○学習目的

1. 地域の自然とふれあいうことで、子どもたちの自然への関心を高める。
2. 外で遊ぶことの楽しさを実感してもらい、青少年の健全育成を図る。
3. 地域の大人たちを講師に迎え、世代間交流を図る。

○指導者

- ・浅野俊雄（日本野鳥の会）
- ・榎本喜三郎（TK燦歩会）
- ・金田與一（染井野星の会）

○プログラム

回	月日(曜日)	学 習 テ ー マ	学 習 内 容	指 導 者	参加者数
1	5月20日 (日)	里山自然観察	里山に生息する生物や、草花の観察を体験。	浅野俊雄 (日本野鳥の会)	12人
2	6月24日 (日)	志津の自然散策	林の中や畦道を散策し、自然の中での遊びを体験。	榎本喜三郎 (TK燦歩会)	13人

3	10月20日 (土)	秋の星座を見よう 天体望遠鏡で月観察	天体望遠鏡での、星座観察 を体験。	金田與一 (染井野星会)	33人
4	11月4日 (日)	野鳥観察	身近な場所に生息している 野鳥を観察。	浅野俊雄 (日本野鳥の会)	7人

○講座を終えて

「里山自然観察」では、身近なところにある里山に生息している生物、草花を観察した。子供達は、身近な所に多くの自然が残っていること、そしてその自然の中に息づいている生物や草花に直接ふれ、自然の素晴らしさを実感した。「志津の自然散策」では、志津地区の林の中、川沿いの土手、畦道を散策した。起伏に富んだ地形の中を散策することで、色とりどりの自然を体験できた。また、地域の大人と一緒に歩くことで新たな交流がうまれた。「秋の星座を見よう 天体望遠鏡で月観察」は、天体望遠鏡で月等秋の星座を観察した。望遠鏡での天体の観察は、自然科学に対して、子ども達に新たな興味と関心を高めることができた。

「野鳥観察」は、身近なところに生息している野鳥を観察した。講師の解説を聞きながらの観察で、野鳥の観察と共に動植物が生息する自然の大切さを学ぶことができた。

自然教室は、里山や林の中等、自然の中で開催した講座であるため、ご指導していただいた先生には入念な事前準備をしていただいている。また、今年度は4講座とも、天候にも恵まれて開催することができた。

今後も志津地区にある自然を紹介するとともに、自然を舞台に魅力のある内容を企画し、子ども達が身近なところにある自然と触れ合える機会を提供していきたい。

佐倉っ子塾 「中高ちょこボラ」中学生・高校生のための公民館職場体験学習

○開設趣旨 中学生・高校生を対象に志津公民館でちょこっとボランティアをする職場体験学習講座

○対象・人数 市内在学在住 中学生・高校生 4人

○期間・回数 通年 5回

○学習目的 青少年が職場体験学習をすることで、地域の人とのふれあいや公民館で働く職員と接することを通して、社会的自立や豊かな人間性を育むことを目的とする。

○募集方法 ①5月1日志津公民館だより「しづ」
②7月1日号「こうほう佐倉」掲載◎施設ガイド志津公民館Tel 487-5064

Electronic mail address :shizu-public@city.sakura.lg.jp

チラシ配布：志津中学校・千葉県立佐倉西高等学校

○申し込み 随時

* 仕事内容は、主催事業のチラシ作成や受付などを担当し、日程や内容についての詳細の希望を聞き、打ち合わせで決定するので気軽にできる。

○プログラム等

「公民館職場体験」 公民館でお仕事

「公民館事業企画」 公民館の主催事業の企画

「公民館主催事業お助け隊」 公民館の主催事業のチラシ作成や主催事業の受付など

回	月 日 (曜日)	学 習 内 容	会 場	参加者数
1	7月8日(日)	志津子ども教室小学生のための主催事業受付等	志津公民館大集会室・事務室	中学生1人
2	7月15日(日)	公民館の主催事業「ちょこボラ」のチラシ作成	志津公民館事務室	中学生1人
3	10月20日(日)	志津公民館祭	志津公民館	中学生1人
4	11月24日(土) 9:30～12:00	しづ市民大学 地域健康学の受付・講座で学習	志津公民館大集会室・事務室	中学生1人 高校生2人
5	11月25日(日)	ジュニアリーダーズクラブクリスマス会の受付 小学生と交流	志津公民館全館	中学生1人 高校生2人

○講座を終えて

現在、若者を中心としたフリーターや無職者の増加、就職後の早期離職等、学校教育から職業への移行に係わる現代の課題がある。毎年、1月に志津公民館の近隣である井野小学校と志津中学校が教育課程の中で職場教育体験学習を実施しており、志津公民館でも各学校6～7人を受け入れている。小学生の時期からキャリア教育を実施し、より良い勤労観と職業観をもつことが大切であり、将来自分が職業を選ぶ際に多くの選択肢が存在することや希望の職業につくには、どのような学習が必要になるかなど、小学生の早い時期から、職場教育体験学習が必要と考える。今年度初めて、開設した志津公民館でちょこっとボランティアをする職場体験学習の講座では、中学生希望を聞き、志津子ども教室小学生のための主催事業受付や「ちょこボラ」のチラシ作成を実施した。また、10月～11月には、千葉県立佐倉西高等学校のボランティア委員会に「ちょこボラ」のチラシを配付し、高校生2人と中学生1人の参加を得た。仕事内容は、しづ市民大学 地域健康学の受付や講座で受講生40人と一緒に、熱心に学習していた。翌日のジュニアリーダーズクラブクリスマス会の受付や小学生と交流した。

来年度に向けての課題は、より多くの中学生や高校生に自分の空いた時間を利用し、志津公民館で職場体験学習をととして、地域の小学生の面倒をみたり、地域の大人との関わりを持つ中で、コミュニケーション能力を向上させてほしい。来年度も、地域コミ新聞等へ広報活動を充実させ、多くの中学生や高校生に公民館へ来てもらい、1日だけでも社会教育の現場で、ボランティアをする職場体験学習の講座を実施していきたい。

3. 成人教育事業

しづ市民大学（第23期）

○開設趣旨

志津公民館では、自由時間の増加、少子高齢化の進展等の中で一人ひとりが自らの生活を見直し、心豊かで充実感ある人生を送るための学習の場を提供するとともに、学習を通じて地域の連帯をはかり、その成果を生かした「まちづくり」に貢献できるよう『しづ市民大学』を開設した。

なお、しづ市民大学の学習とは、講座に参加する・講話を聴くだけの座学ではなく、多彩な学習を学習者自らが創造し、企画並びに運営活動に参画し、市民活動の推進を図る。

そこで、開設にあたり事業の視点を次の2点とし、個性的で多様な内容を取込み『しづ市民大学』を展開する。

（1）自主的な学習活動の促進

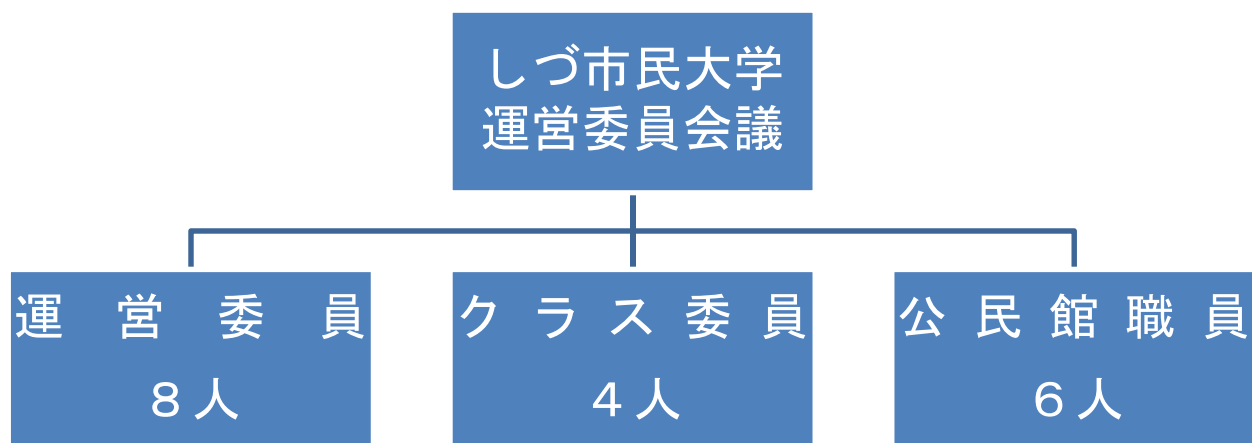
（個人的な参加型の学習から地域への展開）

（2）生涯学習を進めるまちづくり

（地域社会の活性化）

『しづ市民大学』は、人々の出会いの場・地域づくりの場の核となり、地域住民への学習機会を提供し、一人ひとりの生きがいの発見・地域の仲間づくりを通して「住みよいまちづくり」に寄与することを目指す。

【しづ市民大学運営関係図】



【開設講座】

◎ 一般コース（専科 4コース）

1. **しづ学入門（定員40人）** 地元の志津地域や佐倉の歴史・文化・自然などについて学習する場を提供し、自らの学び経験をとおして地域社会の活性化に貢献し、心豊かで住みよい生活地域の実現に寄与する。
2. **地域健康学（定員40人）** 地域のつながりが希薄化し、少子高齢化が進む現代社会において、地域住民、地域の健康増進を目的とし、継続して取組むことにより本来人間が持っている治癒力を取り戻し、体の中から改善する健康づくりを地域全体で考える。
3. **くらしの情報学（定員40人）** 日々のくらしに役立つ様々な情報や地域情報を学習する。溢れる情報の中から有用なものを選択し、得た情報を個人あるいは仲間たちと共に活用することにより、安全で快適な生活の在り方を模索する。
4. **おやじの食事学（定員30人）** 男性を対象とし、料理の楽しさを体験するとともに、家庭で実践でき家族に喜ばれる食事作りについて学ぶ。また、おやじの食事学修了生をはじめ地域の方々の協力を得ながら、食を通じて地域の交流を深める。

◎ 研 究 科

一人ひとりの生きがいの発見、地域の仲間づくりを通して、住み良いまちづくりを具体的に実践していくために、しづ市民大学の修了生を対象として研究科を開設する。

ゼミナール方式により学習を進め、参加者が自ら学習課題を見つけて、その課題について調査研究及び議論を行い、その成果を記録する。

【受講費用】

無 料

ただし、教材費・材料費・入場料
保険料などの実費は自己負担とする。

【連携・協力団体】

おやじの食事学同好会

- ・食事学事業の指導及び助言
- ・地域行事における食事提供等

○対象・人数	しづ学入門	成人	40人
	地域健康学	成人	40人
	くらしの情報学	成人	40人
	おやじの食事学	成人男性	30人

○期間・回数 平成24年5月28日～平成25年2月23日

○プログラム 次頁の通り

しづ市民大学「しづ学入門」コース

回	日時	学習内容「テーマ」 【会場】	講 師
1	5月26日(土) 9:30～12:00	開講式・記念講演会「沈みゆく日本再生に何をすべきか」 【志津コミュニティセンター 大ホール】	元毎日新聞論説委員長 清水 幹夫
2	6月2日(土) 9:30～12:00	佐倉ゆかりの人々 【志津公民館 大集会室】	佐倉市 市史編さん委員 内田 儀久
3	6月23日(土) 9:30～14:00	城下町佐倉の歴史散策 【佐倉地区 史跡散策】	NPO「佐倉一里塚」 ガイドボランティア
4	6月30日(土) 9:30～12:00	佐倉連隊とその時代 【志津公民館 大集会室】	NPO「佐倉一里塚」 代表 山倉 洋和
5	7月7日(土) 9:30～12:00	佐倉市の文化財 【志津公民館 大集会室】	郷土史研究家 高橋 健一
6	7月21日(土) 9:30～12:00	歴史民俗博物館で学ぶ 【国立歴史民俗博物館 見学】	歴博セミナーの会 永見 一
7	8月4日(土) 9:30～12:00	クラス交流会 ＝レクリエーションなど＝ 【志津公民館 大集会室】	クラス委員・運営委員
8	8月25日(土) 10:00～12:00	合同講演会「佐倉連隊と戦時下の佐倉」 【志津コミュニティセンター 大ホール】	国立歴史民俗博物館 特任教授 安田 常雄
9	9月1日(土) 13:30～16:00	志津地域の史跡と名所 【志津公民館 大集会室】	郷土史研究家 宮武 孝吉
10	9月15日(土) 9:30～12:00	志津地域の歴史 【志津公民館 大集会室】	NPO「佐倉一里塚」 代表 山倉 洋和
11	9月29日(土) 9:30～14:00	志津の歴史散策 ① ＝史跡・古道散策など＝ 【志津地区 史跡散策】	郷土史研究家 宮武 孝吉
12	10月6日(土) 9:30～12:00	井野長割遺跡を学ぶ 【志津公民館 大集会室】	佐倉市教育委員会文化課 担当職員
13	10月20日(土) 9:30～13:30	第39回 志津公民館祭 (しづ市民大学 ウォークラリー大会)	クラス委員・運営委員
14	11月3日(土) 9:30～14:00	志津の歴史散策 ② ＝史跡・古道散策など＝ 【志津地区 史跡散策】	郷土史研究家 高橋 三千男
15	11月17日(土) 9:30～12:00	印旛沼の変遷 ＝湖沼の生態系＝ 【志津公民館 大集会室】	内水面水産研究所 主席研究員 川津 浩二
16	12月1日(土) 13:30～16:00	印旛沼と野鳥と里山 【志津公民館 大集会室】	日本野鳥の会 会員 浅野 俊雄
17	12月15日(土) 9:30～12:00	成田(門前町)を学ぶ＝成田山新勝寺など＝ 【志津公民館 大集会室】	成田山靈光館 学芸員 矢嶋 毅之
18	1月12日(土) 9:30～12:00	民俗行事を学ぶ ＝井野の辻切りなど＝ 【志津公民館 大集会室】	郷土史研究家 高橋 三千男
19	1月26日(土) 9:30～12:00	佐倉道を学ぶ ＝成田街道あれこれ＝ 【志津公民館 大集会室】	郷土史研究家 村田 一男
20	2月2日(土) 9:30～12:00	佐倉市の文化振興 【志津公民館 大集会室】	佐倉市教育委員会文化課 担当職員

21	2月16日(土) 9:30～12:00	クラス発表に向けて 【志津公民館 大集会室】	クラス委員・運営委員
22	2月23日(土) 9:00～14:00	クラス別学習発表・閉講式 【志津コミュニティセンター 大ホール】	クラス委員・運営委員

しづ市民大学 「地域健康学」 コース

回	日 時	学習内容「テーマ」 【会場】	講 師
1	5月26日(土) 9:30～12:00	開講式・記念講演会「沈みゆく日本再生に何をすべきか」 【志津コミュニティセンター 大ホール】	元毎日新聞論説委員長 清水 幹夫
2	6月9日(土) 9:30～12:00	お元気ですか？地域から健康笑顔を発信 口腔衛生 【志津公民館 大集会室】	佐倉市保健師・歯科衛生士
3	6月23日(土) 9:30～12:00	軽スポーツでリフレッシュ (ユニカール) 【志津コミュニティセンター 大ホール】	体育指導委員 六崎美知代
4	7月14日(土) 9:30～15:00	栄養学から健康愛情料理～我が家の食事情の検証 【志津公民館 大集会室】	栄養士 小林 由喜子
5	7月21日(土) 9:30～13:00	笑顔いっぱい手作り料理－実習編－ 【志津公民館 調理室】	栄養士 小林 由喜子
6	7月28日(土) 9:30～12:00	放射能・放射線とは？何が危険なのか、何に利用されているのか・腰痛体操 【志津公民館 大集会室】	セントマーガレット病院 放射線科技師 鈴木 喜一郎 リハビリテーション科理学療法士 清水 貴 義
7	8月25日(土) 10:00～12:00	合同講演会「佐倉連隊と戦時下の佐倉」 【志津コミュニティセンター 大ホール】	国立歴史民俗博物館 特任教授 安田 常雄
8	9月8日(土) 9:30～12:00	健康太極拳で柔軟性を高め、筋肉を鍛える 【志津公民館 大集会室】	日本武術太極拳連盟公認 指導員 中城 明
9	9月22日(土) 9:30～12:00	脳科学・脳のしくみと働き 【志津公民館 大集会室】	千葉大学医学部大学院 脳神経外科助教授 樋口 佳則
10	10月13日(土) 9:30～12:00	呼吸法ヨーガで自分をみつめ、自己管理 【志津公民館 大集会室】	フリーダイバー 日本一 平井 美守珠
11	10月20日(土) 9:30～13:30	第39回 志津公民館祭 (しづ市民大学 ウォークラリー大会)	クラス委員・運営委員
12	10月27日(土) 9:30～12:00	森林浴で健康骨太に～安全に楽しく歩いて～ 【志津公民館 大集会室】	ボーイスカウト連盟公認 指導員 本部 三枝子
13	11月10日(土) 9:30～12:30	生活習慣病とウォーキング～元気に歩いて～ 【志津公民館 大集会室】	NPO 千葉県ウォーキング協会
14	11月24日(土) 9:30～12:00	家庭の薬学と地域介護～薬と食べ物の関係～ 【志津公民館 大集会室】	佐倉市薬剤師会 会長 伊藤 克洋
15	12月8日(土) 9:30～12:00	笑いいっぱいのタオル健康体操 【志津公民館 大集会室】	健康をつくろう会 会長 廣吉 勝子

16	12月22日(土) 9:30～12:00	子どもたちの未来を考えて 【志津公民館 大集会室】	さくらっ古・ 佐倉こどもかるた子都手留会
17	1月19日(土) 9:30～12:00	地域サークルとボランティア 【志津公民館 大集会室】	手話ダンスロード
18	2月9日(土) 9:30～12:00	発表会に向けて 【志津公民館 大集会室】	クラス委員・運営委員
19	2月23日(土) 9:30～14:00	クラス別学習発表会・閉講式 【志津コミュニティセンター 大ホール】	クラス委員・運営委員

しづ市民大学 「くらしの情報学」 コース

回	日 時	学習内容「テーマ」 【会場】	講 師
1	5 月 26 日 (土) 9:30～12:00	開講式・記念講演会「沈みゆく日本再生に何をすべきか」 【志津コミュニティセンター 大ホール】	元毎日新聞社論説委員長 清水 幹夫
2	6 月 14 日 (木) 9:30～12:00	佐倉市の商業活性化について 【志津公民館 大集会室】	佐倉商工会議所 事務局長 高橋 義和
3	6 月 28 日 (木) 8:30～17:00	情報化社会体験 (バス見学会) 【先端技術館・花見川終末処理場】	クラス委員・運営委員
4	7 月 12 日 (木) 9:30～12:00	地域の活動に参加しよう 【志津公民館 大集会室】	佐倉市社会福祉協議会 ボランティアセンター長 深沢孝志
5	7 月 26 日 (木) 9:30～12:00	悪質商法撃退法 【志津公民館 大集会室】	佐倉市消費生活センター 消費生活専門相談員 後藤英子
6	8 月 2 日 (木) 9:30～12:00	佐倉市企業の取組み～佐倉茶物語～ 【志津公民館 大集会室】	(株)小川園代表取締役社長 小川 勝寛
7	8 月 25 日 (土) 10:00～12:00	合同講演会 「佐倉連隊と戦時下の佐倉」 【志津コミュニティセンター 大ホール】	国立歴史民俗博物館名誉教授 安田 常雄
8	9 月 13 日 (木) 9:30～12:00	ニュースの読み方 【志津公民館 大集会室】	元毎日新聞社論説委員長 清水 幹夫
9	9 月 27 日 (木) 9:30～12:00	エコライフを送ろう 【志津公民館 大集会室】	(財)電力中央研究所理事待遇 工学博士 中 岡 章
10	10 月 11 日 (木) 8:00～17:00	話し合い学習 (バス見学会) 【NHKスタジオパーク・警視庁】	クラス委員・運営委員
11	10 月 20 日 (土) 9:30～13:30	第 3 9 回 志津公民館祭 (しづ市民大学 ウォークラリー大会)	クラス委員・運営委員
12	10 月 25 日 (木) 9:30～12:00	他人への思いやりを考えよう 【志津公民館 大集会室】	(社)千葉県人権啓発センター 常務理事 鎌田 行平
13	11 月 8 日 (木) 9:30～12:00	認知症サポーターになろう！ 【志津公民館 大集会室】	志津北部地域包括支援センター 介護支援専門員 畠山朝子
14	11 月 22 日 (木) 9:30～12:00	遺言と相続～備えあれば…!?～ 【志津公民館 大集会室】	千葉県金融広報委員会金融 広報アドバイザー 齋藤喜代美
15	12 月 13 日 (木) 9:30～12:00	交通・生活安全の知識と啓発 【志津公民館 大集会室】	佐倉警察署交通課 稲村寿永警部補 生活安全課 松本康平警部補 浅野正幸巡查 千葉県警察高速隊 鯨岡則夫警部補
16	1 月 10 日 (木) 9:30～12:00	災害に備えて 【志津公民館 大集会室】	佐倉市役所防災防犯課 主任主事 鵜澤 裕貴
17	1 月 24 日 (木) 9:30～12:00	救急講習 【志津公民館 大集会室】	志津消防署 志津南出張所消防隊
18	2 月 14 日 (木) 9:30～12:00	発表に向けて 【志津公民館 大集会室】	クラス委員・運営委員
19	2 月 23 日 (土) 9:30～14:00	クラス別発表会・閉講式 【志津コミュニティセンター 大ホール】	クラス委員・運営委員

しづ市民大学 「 おやじの食事学 」 コース

回	日時	学習内容「テーマ」 【会場】	講 師
1	5月26日(土) 9:30～12:00	開講式・記念講演会「沈みゆく日本再生に何をすべきか」 【志津コミュニティセンター 大ホール】	元毎日新聞論説委員長 清水 幹夫
2	6月09日(土) 9:30～13:30	料理を始める前に… (講義・実習) 【志津公民館 調理室】	栄養士 六崎 美知代
3	6月23日(土) 9:30～13:30	カレーライスで基礎固め (実習) 【志津公民館 調理室】	栄養士 小林 由喜子
4	6月30日(土) 9:30～13:30	簡単！ おいしいパスタ (実習) 【志津公民館 調理室】	栄養士 小林 由喜子
5	7月14日(土) 9:30～13:30	和食の醍醐味 ダシを活かした料理 (実習) 【志津公民館 調理室】	フードコーディネーター 加藤 富美子
6	7月28日(土) 9:30～13:30	野菜をおいしくいただきます (実習) 【志津公民館 調理室】	栄養士 六崎 美知代
7	8月04日(土) 9:30～13:30	ピザを焼いてみよう！ (実習) 【志津公民館 調理室】	料理研究家 安部井 幸江
8	8月25日(土) 10:00～12:00	合同講演会「佐倉連隊と戦時下の佐倉」 【志津コミュニティセンター 大ホール】	神奈川大学大学院特任教授 安田 常雄
9	9月08日(土) 9:30～13:30	先輩から教わる手打ちうどん (実習) 【志津公民館 調理室】	おやじの食事学同好会 奥平 英明
10	9月22日(土) 9:30～13:30	健康に配慮して (講義・実習) 【志津公民館 調理室】	栄養士 六崎 美知代
11	10月13日(土) 9:30～13:30	みんなが好きな中華料理 (実習) 【志津公民館 調理室】	調理師 矢口 孝
12	10月20日(土) 9:30～13:30	第39回 志津公民館祭 (しづ市民大学 ウォークラリー大会)	クラス委員・運営委員
13	10月27日(土) 9:30～13:30	魚をおろそう (実習) 【志津公民館 調理室】	調理師 佐久間 由則
14	11月10日(土) 9:30～13:30	おやじ特製！ オムライス (実習) 【志津公民館 調理室】	調理師 佐久間 由則
15	11月24日(土) 9:30～13:30	難しい料理に挑戦!? (実習) 【志津公民館 調理室】	調理師 矢口 孝
16	12月 8日(土) 9:30～13:30	リクエストメニュー (実習) 【志津公民館 調理室】	フードコーディネーター 加藤 富美子
17	1月12日(土) 9:30～12:00	発表に向けて (話し合い) 【志津公民館 調理室】	クラス委員・運営委員
18	1月26日(土) 9:30～12:00	メニューを考えよう (話し合い) 【志津公民館 調理室】	クラス委員・運営委員
19	2月09日(土) 9:30～13:30	腕前披露 (実習) 【志津公民館 調理室】	クラス委員・運営委員
20	2月23日(土) 9:30～14:00	クラス別学習発表会・閉講式 【志津コミュニティセンター 大ホール】	クラス委員・運営委員

○講座を終えて

「しづ学入門」

しづ学入門では、郷土の歴史や文化について学習することを柱として、講話を中心に史跡散策・見学会と記念講演会・合同講演会の全 22 回による学習を実施した。受講を重ねる中で郷土愛と多くの仲間の輪を向上することで、事業の視点にある「自主的な学習活動の促進」「生涯学習を進めるまちづくり」において一つの成果を上げることができた。受講生からは、地元志津地域の多くの史跡、名所があることを知り、そしてそれらを更に身近に感じることができ、有意義な講座であったと評価をいただいた。

今年度のウォークラリーでは、昨年度のしづ学入門コースから生まれたサークル「りゃんりゃん会」のメンバーがコースの設定等、企画を担っていただいた。受講生の感想の一部を紹介すると「上志津の地域を知らない小路を歩いて、大きな公園、古式豊かな神社があったり、史跡を見たり素晴らしい地域に住んでいる事がわかり、沢山の歴史のある町であったことが誇らしくなりました。チームワークも良く、全員完歩し、よい汗をかいて有意義な 1 日でした。まだまだ知らない事が沢山あるので、佐倉の歴史を勉強したいと思います」など多くの感想をいただいた。

また、講座の終了後には同感する仲間を集め、歴史散策を中心とするサークル活動を開始することとなり、「生涯学習と地域で暮らす仲間の輪」の起点となり、これからの活動に期待するものとなった。

次年度においては、より身近な地域の課題や生涯学習の視点に考慮したカリキュラムの再検討と、受講生の学習修了後における様々な生涯学習活動や地域づくりへの参加・貢献等をより向上するための方策について、運営委員とともに研究し更なる学習成果を目指すことが課題となった。

「地域健康学」

地域健康では、健康に関して、ゆっくり体を動かすことやウォーキング、そして、栄養バランスや医学的な学習など、講義と実技を交えて、個人から、地域の人への学習成果を伝えていただくことを目的に実施した。

今年度の新たな講座は、「口腔体操」「脳科学・脳のしくみと働き」「地域サークルとボランティア」「子どもたちの未来を考えて」であり、受講生の感想では、「市民大学に入り、学習、支えあう社会ボランティアで憩いを味わい、孤独感を払拭し、コミュニケーションのとれた温かい町にしたいし、住みたいと思う」「これまで過ごしてきた無駄な日々をもったい無く思う。人として、ささやかでも人の為になる生活をと、日々思いが強くなりました」「今まで思い違いをしていた自分に気づきました。規則正しい食生活、出来るだけ歩く、毎日の体のチェックなどを怠らない。この 3 つが自分の健康に貢献している」「貴重な情報を地域の人に伝えていきたい」など、自己の生活を見直し、地域連帯の意識や地域愛着へ向上が見られる感想が多くあった。

当初から委員長及び班長を決定し、コースの団結力を深めるため、ホームルームの時間を、「自ら実践している健康していること」とテーマを決め、積極的に話を話す機会とした。講座の最後に 1 冊の「私の健康法」と称して、まとめを作成し、受講生に配付した。

閉講式後、地域健康学の有志 30 人が「しづ健康 24」を結成し、新たなサークル活動へと歩き出した。

しづ市民大学で出会い、学び合い、誰もが健康で明るい生活を送り、地域の中で、支え合う社会へと繋がっていくことを願う。

「くらしの情報学」

本コースの開設趣旨は、生活に密着した情報や取組みに加え、心豊かな生活を過ごすための知識を学ぶことにある。初年度に実施した講座の内容から、社会の変化、受講生のニーズに合わせて毎年見直しを行ってきている。今年度は「地域の活動に参加しよう」、「他人への思いやりを考えよう」とボランティアと人権講座をカリキュラムに取入れ開設した。

先端科学技術館・花見川終末処理場へのバス見学を行った。受講生がテーマを決める「話し合い学習」も、NHK・警視庁のバス見学会に決まり、受講生の新たな知識を得たいという意欲が表れていた。

介護、認知症から、相続、防災、人権、エコと、幅広い内容で自分や地域のくらしに役立つ、新たな知識を得ることで、生涯学習への意欲や、地域活動への参加意欲が高まっていることがうかがえた。

「おやじの食事学」

おやじの食事学は、男性が料理の楽しさを体験しながら家庭で実践できる食事作りを学び、家庭や地域活躍できるようになってもらうことを目的として実施した。昨年度は「1 ヶ月に何回料理をしたいか」の目標を達成できた方が 30 人中わずか 2 人であったため、今年度はおやじの食事学における学習成果を家庭で活用してもらえるよう、おやじの食事学担当の運営委員、世話人（おやじの食事学の昨年度の卒業生）打ち合わせを行い、その結果を反映した内容となるよう工夫した。

受講前と受講後の 2 回のアンケート調査を行ったところ、今年度は受講前よりも料理回数が増えた方が 16 人、家事へ積極的に参加するようになった方が 13 人、料理回数の目標を達成した人が 7 人という結果となり、講座の目的にかなった成果が出た。また、その他の成果としては、食事作りの苦労を実感し、普段家で料理をしてくれる妻への感謝やねぎらいの気持ちを抱くようになった人が多く、料理に対する関心や意欲の向上を挙げることができる。

今年度は、修了後の学習活動や地域活動への参加を促進することができなかった。来年度はこの点を課題とし、受講生に様々な情報を提示し地域参加を進めることができるようにしたい。

佐倉学入門講座 「井野長割遺跡」を学ぶ

○開設趣旨 井野長割遺跡を中心に考察し、縄文時代の村のすがたや生活・役割などを知ることにより、当時の志津地区の自然や歴史・地理・生活状況を理解する。また、学習成果を通して地域に対する知識を深め、郷土の成り立ちを知ることにより、郷土愛や歴史文化を継承し、地域の連帯と仲間づくりを図る。

○対象・人数 志津地区の一般成人 20 人

○期間・回数 平成 25 年 2 月 6 日 ～ 2 月 27 日 全 4 回

○学習目的 ①井野長割遺跡を題材に、縄文時代の志津地区についての知識を深める。
②地域の遺跡を学ぶことで、郷土愛や歴史文化への意識を高める。

○指導者 市職員（文化課職員）・（公財）印旛郡市文化財センター職員

○プログラム

	月日(曜日)	学習テーマ	学習内容	指導者	参加人数
1	2 月 6 日 (水)	基礎知識編	考古学入門 佐倉の縄文時代	文化課職員 松田 富美子	18 人
2	2 月 13 日 (水)	遺跡の紹介	井野長割遺跡とは 遺跡概要紹介	文化財センター 小倉 和重	19 人
3	2 月 20 日 (水)	遺跡の見学	遺跡探訪し 知識を深める	文化財センター 小倉 和重	18 人
4	2 月 27 日 (水)	今後のあり方 土器の拓本製作	遺跡の経緯と 今後について	文化課職員 江森 幹浩	19 人

○講座を終えて

「井野長割遺跡」は、印旛沼南岸の台地上に位置する縄文時代後・晩期（今から約4000～3000年前）に栄えた集落跡で、ドーナツ状に配置された盛土群により「環状盛土遺構」が明瞭に存在しており、平成17年3月に国の史跡に指定され佐倉市の重要な文化遺産となっている。

この講座では、身近な市民文化資産を教材とし地域を見直し・新しい佐倉の文化について考え、共に創り上げていく活動『佐倉学』を展開していくステップとなることを願って、実施した。

全4回の講座であったが、毎回受講生の出席率が高く、講師の説明を聞き、質問や意見を交換しあう活発な学習の場となった。第3回目の現地見学では、縄文時代の生活の跡を実際に見ることができ、井野長割遺跡をさらに身近に感じることもできたことと好評をいただいた。第4回目では、今後のあり方について学習し、「井野長割遺跡」の保存・活用の仕方を学んだ。地域住民である受講生が後世にどのように引き継いでいくのかが課題となった。

佐倉学講座 「佐倉道を歩く」 ＝佐倉・城下町400年記念事業＝

○開設趣旨 1610年（慶長15）に土井利勝が佐倉城主となり、翌年から鹿嶋山に城を築き、城下町造りを始めた。2010年（平成22）はちょうど400年にあたるため、これを記念して城主の歩いた「佐倉道」を実際に歩き、城下町佐倉のことや佐倉道のことを学ぶ機会とする。

○対象・人数 志津地区の一般成人 38名

○期間・回数 平成24年10月30日～11月30日 10回

○学習目的 1. 佐倉城主の歩いた「佐倉道」や城下町佐倉への理解を深める。
2. 地域の素材を活用することで、郷土への愛着を持ってもらう。

○指導者 八千代市郷土歴史研究会会員（会長 村田 一男 氏）

○プログラム

回	月日（曜日）	学 習 テ ー マ	学 習 内 容	指 導 者	参加者数
1	火曜日コース 10月30日 金曜日コース 10月26日 9時30分～15時30分	午前 講義 「佐倉道のあらまし」 午後 史跡散策 志津公民館～ 京成臼井駅	午前に、佐倉道の成立や歴史、地理などを学び、午後に、佐倉道のうち、志津公民館から京成臼井駅までを歩く	村田 一男	19人 15人
2	火曜日コース 雨天中止 金曜日コース 11月 2日 9時30分～15時30分	史跡散策 江戸川駅～ 京成西船駅	佐倉道のうち、江戸川駅～京成西船駅までを歩く	火曜日コース 雨天中止 金曜日コース 菅野 貞男	雨天中止 18人

3	火曜日コース 11月13日	史跡散策 京成西船駅～ 習志野駅	佐倉道のうち、京成西船駅 ～習志野駅（新京成線）ま でを歩く。	火曜日コース 菅野 貞男	16人
	金曜日コース 11月 9日 9時30分～15時30分			金曜日コース 牧野 光男	16人
4	火曜日コース 11月20日	史跡散策 習志野駅～ 志津公民館	佐倉道のうち、習志野駅（新 京成線）～志津駅までを歩 く。	火曜日コース 牧野 光男	17人
	金曜日コース 11月16日 9時00分～15時30分			金曜日コース 菅野 貞男	16人
5	火曜日コース 11月27日	史跡散策 京成臼井駅～ 佐倉城大手門跡	佐倉道のうち、京成臼井駅 ～佐倉城大手門跡までを歩 く。	畠山 隆	18人
	金曜日コース 11月30日 9時30分～14時				16人

○講座を終えて

この講座は、佐倉・城下町400年記念事業の一環として、平成22年度から開設している。佐倉道の史跡散策を学習の柱とし、コースの定員を20人として、多くの方にご参加いただけるよう火曜日、金曜日の2コースを開講した。

初回は、午前中に「佐倉道のあらまし」として佐倉道の全体像等を講義いただき、昼食後、志津公民館から京成臼井駅までのコースを史跡散策した。残りの4回は、上記の表のとおり、現地集合、現地解散とし、史跡散策を行った。

今回の講座は、昨年に引き続き、八千代市郷土歴史研究会の会員にお願いしたが、簡潔にまとめた資料とわかりやすく丁寧な解説は、大変好評であった。

火曜日コースの2回目は、雨天のため予備日に延期したが、予備日も雨天となり残念ながら中止となった。その他の回は、多少終了時間が前後したものの予定どおり実施することができた。

散策中は交通事故に細心の注意を払いながら進め、交通事故もなく、全日程を順調に、楽しく学習することができた。

昨年度の金曜日コースは、修了式を行うことが出来なかったかが、今年度は両コースともに修了式を行うことができた。修了式は会食時に行い、受講生同士の交流につながった。受講した感想は、「江戸の庶民の生活が知れてよかった」「今後は地元の歴史を勉強してみたい」などの意見をいただいた。「歩きについていくので精一杯だった」「ハードスケジュールだった」という意見もあり、来年度は、実施方法やコースの内容について、受講生にとって重荷にならないよう見直しをしていきたい。

コミュニティ事業・学びあい講座 「コミュニティ食堂、作ってみませんか？」

○開設趣旨 本講座は、地域そのものや地域課題への関心を高める学習機会を提供することで「共に生き、支えあう」地域づくりに寄与し、人材の育成を図る目的として「コミュニティ事業・学びあい講座」を市民公募による講師の企画に基づき、開設する。高齢者の孤食等の食生活の悪化や、地域住民の交流の減少といった地域課題に対する解決策として、地域の住民が共に生き、支え合うことができる場である「コミュニティ食堂」を紹介する。効果等を検証するほか、家庭菜園の野菜の活用等、地域住民のできることを話し合いながら、志津

地区にコミュニティ食堂を手作りできるかを考える。

なお、講座は講義のほか、グループワーク（話し合い）や調理実習を実施し、受講生自らが考え体験することで学習効果を高められるように配慮する。

○対象・人数 志津地区の一般成人 16人

○期間・回数 平成25年2月24日、3月3日、3月10日 全3回

○学習目的 1. 食生活の悪化や交流の希薄化といった地域課題への認識を深め、「コミュニティ食堂」の必要性を考え、志津地区での設立を促す。
2. コミュニティ食堂設立のノウハウや課題について学習する機会を提供し、コミュニティ食堂の設立を目指す人の支援とする。

○講師 加藤 富美子（フードコーディネーター）

○プログラム

	月日(曜日)	学習テーマ	学習内容	指導者	参加人数
1	2月24日(日) 10時～12時	高齢者等の食の問題 とコミュニティ食堂	住民の抱える食の問題 を探りコミュニティ食 堂の必要性を話し合う	加藤 富美子	15人
2	3月3日(日) 10時～12時	コミュニティ食堂を 作るには…?	コミュニティ食堂のあ り方や設立の準備につ いて、講師と受講生が お互いに提案し、協働 について考える	加藤 富美子	15人
3	3月10日(日) 10時～13時	旬野菜でランチを作 ってみよう！（調理実 習）	実際にコミュニティ食 堂で提供できるような 食事を作り、話し合う	加藤 富美子	15人

○講座を終えて

本講座は「コミュニティ事業」の「学びあい講座」として、市民公募を行い選定された講師の企画に基づき実施した。コミュニティ食堂とは、利潤ではなく「食」についてくる付加価値を得ることを目的とする。地域住民の手で作られ運営される食堂であり、「地域の住民が共に生き、支え合うことができる場」である。

講座は講師から受講生への知識の伝達だけではなく、受講生同士や講師も講座の中で学びあうことに主眼をおいた。第1回と第2回はグループごとの話し合いを中心に進め、地域住民が抱る「食」に関する問題点やどんなコミュニティ食堂を作ったら良いか、設立に向けた課題等について参加者同士が意見を発表し合い、情報交換した。第3回目は実際にコミュニティ食堂で出せる原価の安い食事作りを体験した。講座中は、講師の知己であるコミュニティ食堂の店主が応援にかけつけ、参加者からの質問に具体的に答えてくださった。参加者の感想は、「様々な立場の人の話を聞けて、自分の中の分からない部分がよく理解できた」「近所付き合いで間に合っていたため、地域での付き合いがなかったと感じた」と、講座を通しての学びについて言

及されたものが多かった。また、「食堂を作ろうとのテーマだったが、これでは食堂はできない。主題をもっと徹底した講座が望みだった。テーマがほとんど進捗しない講座であった」という厳しいご意見もいただいた。「講座の趣旨を勘違いしていた」という参加者も多かったが、これは、具体的な知識を伝達するのではなく、お互いに学びあうための講座であるという趣旨について十分に周知できていなかったことが原因であると考えられる。また、学習後の活動を促進することができなかった。

来年度は、参加者が講座終了後の活動に意欲を持ち、それを具体的な活動へ結びつけられるような講座となるように、配慮したい。

4. 団体育成事業

第39回 志津公民館祭

○開催趣旨 志津公民館の利用団体が、自ら企画・運営して、日ごろの学習活動の成果を発表し、団体および地域住民との交流を深め、学習活動・地域活動の啓発をはかる。

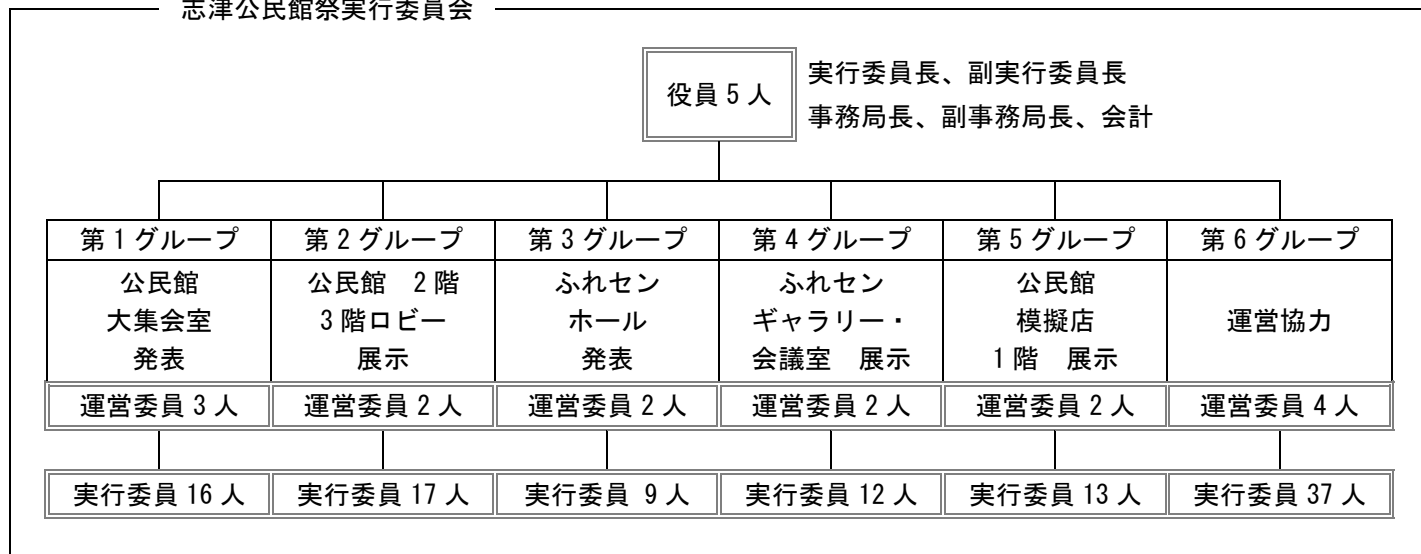
○開催日時 10月19日(金)～21日(日)
10時～16時(最終日は10時～15時)

○会場 (第1会場) 志津公民館 ・ (第2会場) 西志津ふれあいセンター

○主催 志津公民館祭実行委員会

役員	氏名	団体名
実行委員長	柴田 由紀枝	志津JLC
副委員長	大畑 正壽	千葉土建佐倉支部志津東分会
事務局長	吉見 律子	スケッチブック
副事務局長	前島 薫代	フォトクラブ志津
会計	佐藤 圭子	ニコ・ニコ

志津公民館祭実行委員会



○参加 103 団体

○来場者 2,523 人

○実施経過 (別表)

○公民館祭を終えて

志津公民館祭は、志津公民館で活動するサークルや団体が一堂に会し、作品展示・公演・作品販売など、日頃の学習成果を発表することを目的として開催した。今年度で39回目となり、開館以来、毎年欠かさず実施している伝統ある事業で、団体の代表者から構成される実行委員会を組織し、手作りで運営している。

昨年度も行った東日本大震災義援金は、志津公民館受付義援金箱、西志津ふれあいセンター受付義援金箱及び7団体から75,676円集まり、社会福祉協議会を通じ寄付し、広報「社協さくら」へ掲載された。また、子どもの体験コーナーは、誰でも参加できる辻ぎり・竹トンボ・花や果物を観察して楽しく描こう・佐倉こどもかるた・餅つき・手作りうどん・手作り本箱・マジック・科学工作など子どもから大人まで体験でき、親子でチャレンジしている姿が多く見受けられた。特に開催日の土曜日には、志津地区の小学校に配布しているPRチラシの効果もあり、小学生や親子連れの姿が多く見られ、会場がにぎわった。

今年度の参加団体は、103団体となり、公民館利用者の高齢化に伴い、縮小傾向が懸念されている。その一方で、市民大学修了生がサークルを立ち上げているため、新たなサークルの参加も見られる。結成まもないサークルの人たちは、他の団体と交流する機会となり、志津公民館祭が、地域住民を含め、貴重な交流の場として、地域の活性化に寄与している。

今後、「志津公民館祭」の開催趣旨に基づき、生涯学習を推進する中で、祭典の歴史を踏まえ事業評価を重ねながら展開し、志津公民館と活動団体の協働により地域社会の活性化を目指し、継続的に実施することを願う。

【 別表 】 第 39 回志津公民館祭 実施経過

月・日	曜日	会議名など	検討事項など	開会時間・場所
5/15	火	アンケート回答締切		
6/4	月	第1回実行委員会	・第38回公民館祭の事業報告と会計報告 ・第39回公民館祭の実施計画書並びに予算案の検討 ・7/1 締切の参加申込書配布 ・運営委員の選出	13:30 大集会室
6/4	月	第1回運営委員会	・四役選出	実行委員会終了後
6/27	水	役員会議	・各グループの調整 ・子ども体験コーナーなどの検討	14:00 資料室
7/2	月	第2回運営委員会	・各グループの調整 ・子ども体験コーナーの検討 など	13:30 中集会室
8/6	月	第2回実行委員会	・各グループの調整 ・子ども体験コーナーなどの承認	13:30 大集会室
9/1	土	役員会議	・役割分担の確認 ・準備状況の点検・最終調整	15:00 会議室
9/3	月	第3回運営委員会	・役割分担の確認 ・準備状況の点検・最終調整	13:30 大集会室
9/3	月	第3回実行委員会	・役割分担の確認 ・準備状況の点検・最終調整	14:30 大集会室
9/6	木	西志津ふれあいセンターとの打合せ（ギャラリーなど使用）		
10/4	木	西志津ふれあいセンターとの打合せ（ホール使用）		
10/17	水	役員打合せ（13:00） 4グループ ふれあいセンターへパネルなど運搬（14:00） 中集会室利用サークル パネル移動（14:30） （会議室・相談室利用サークル・・・希望によりパネル移動可能） 調理室（本日から公民館祭準備のために使用）		
10/18	木	設営（9:30）・搬入（10:30）		
10/19	金	西志津ふれあいセンターホールでのリハーサル（希望サークル）		
10/19	金	第39回志津公民館祭（第1日）		
10/20	土	第39回志津公民館祭（第2日）		
10/21	日	第39回志津公民館祭（第3日）		
10/29	月	第4回実行委員会	・第39回公民館祭の反省会（より良い公民館祭を目指して）	13:30 大集会室
25年 2/18	月	役員会議	・第40回公民館祭開催について	14:00 資料室

グループ運営研修会

- 開催趣旨 社会教育施設を活動拠点とする「グループ」・「サークル」が、活発で継続的に学習活動されるよう、団体運営のあり方等について学習の場を提供する。 また、各グループの情報交換や公民館の利用方法・要望等について懇談し、各グループ・サークル団体間の親睦を図る。
- 対象・人数 志津公民館利用グループ・団体の代表者 123団体 136人
- 開催期日 平成24年4月20日（月） 午後2時～4時30分
- 学習内容
- ① 公民館でのサークル活動とは
 - ② 公民館の予約・使用での注意事項について
 - ③ グループ活動の意見交換
 - ④ 第39回志津公民館祭について
 - ⑤ 火災を想定した避難訓練
 - ⑥ その他 施設予約の手順について
 - ⑦ インターネット予約の手順（希望者）
- 今後に向けて

各サークル団体に対する必要かつ適切な助言・指導等について研究・検討し、公民館を拠点としたサークル活動の更なる飛躍と活性化を目指し、実施した。

公民館の施設・設備の有効活用と地域住民ニーズに即した適正な運営管理に努め、「多くの住民が集う公民館」「地域づくりの核」となるよう、施設・設備の充実及び利用者との連携を図っていく必要がある。

調理室利用者懇談会

- 開催趣旨 調理室を定期利用している「グループ」・「サークル」を対象に、サークル団体の交流・共通理解を求め、調理室の効率的な活用と適正な運営・衛生管理の向上を図る。
- 対象・人数 定期利用している料理グループ 参加者 22団体 38人
- 開催期日 平成24年6月18日（月） 午後1時30分～午後4時
- 会議内容
- ・調理室の利用説明と要望・意見交換
 - ・調理室の清掃（調理器具の点検）
- 今後に向けて

調理室の特性として衛生管理が最も重要であり、利用者相互の理解と協力により適切な施設運営が可能となることから、利用グループとの連絡調整を迅速かつ継続的に行うとともに、調理実習等としてグループ活動の場を共有する上での意識の向上を図ることが大切と考える。

＊調理備品・器具の点検 ＊グループ備品の整理整頓 ＊生ゴミ・廃油等の処理の徹底

志津地区の子ども会育成活動

- 概 要 志津地区子ども会育成連絡協議会は、参加団体の減少により平成10年度から志津子連独自の事業は実施していないが、千葉県子ども会安全会加入手続きの補助のほか、行事に関する情報提供を中心に、子ども会育成者の支援を行っている。
- 加入団体 単位子ども会 12 団体
- 活動内容 千葉県子ども会安全会説明会・志津JLC活動紹介（3月）
千葉県子ども会安全会 加入・追加・手続き 受付
活動支援相談・連絡調整

志津ジュニア・リーダーズ・クラブ（志津JLC）

- 概 要 志津ジュニアリーダーズクラブは、主にジュニアリーダーの育成を目的として、志津地区を中心に活動している。志津地区子ども会連絡協議会や単位子ども会の活動における主要な協力団体であり、志津公民館ではその活動を支援している。
- 主な活動 単位子ども会への協力・行事支援
志津公民館祭参加（10月）
ジュニアリーダー初級認定講習会（主催 佐倉市教育委員会）への指導・運営協力（7月）
佐倉市子連主催「子ども会中央交流フェスティバル」への参加・運営協力（10月）
志津JLCクリスマス会（志津公民館共催）企画・運営（11月）

5. 広報・展示事業

志津公民館だより

○ねらい 公民館活動への理解と、積極的参加をはかることを目的として、公民館主催事業の案内を中心に、地域話題などについて、紙面を通して発信する。

○発行回数 年 3 回（5 月・10 月・1 月）

○発行部数 毎号 25,000 部

○配布方法 志津地区内に新聞折り込み配布・市内公民館および志津地区内公共施設に配架

○内 容

第 2 2 3 号 (平成 2 4 年 5 月 1 日)	第 2 2 4 号 (平成 2 4 年 1 0 月 1 日)	第 2 2 5 号 (平成 2 5 年 1 月 1 5 日)
●募集案内（主催事業） お母さんと遊ぼう しづ市民大学 子どもクッキング教室 子ども手づくり工房 子ども自然観察 子ども理科実験教室 ●募集案内 中高ちょこボラ ●募集案内（共催事業） 文学講座	●募集案内（主催事業） 佐倉学講座「佐倉道を歩く」 しづ市民大学公開講座 子どもクッキング教室 子ども手づくり工房 子ども自然観察 子ども理科実験教室 ●募集案内 中高ちょこボラ ●募集案内（共催事業） 志津JLCクリスマス会 文章講座 ●行事案内 第 3 9 回志津公民館祭	●募集案内（主催事業） 「井野長割遺跡」を学ぶ 笑顔で子育て応援講座 ●募集案内 活動サークル紹介 学びあい講座 ●募集案内 中高ちょこボラ ●志津公民館利用案内

○今後に向けて

今年度は、例年どおり 3 回（5、10、1 月）「公民館だより」を発行した。紙面に限りがあるため、毎年主催事業の募集記事やイベントの様子を紹介等が主な内容になっている。

主催講座の案内では、「お母さんと遊ぼう」と「佐倉っ子塾」の記事について紙面の見直しを行い、情報が分かりやすく伝わるよう工夫した。

また、「公民館だより」の配布先についても見直しを行い、今年度は志津地区での新聞折込みや市内の各公民館、志津地区の公共施設へ配架したのほか、志津地区の子ども会へ送付し、より多くの方に見ていただけるよう、配慮した。

今後は、さらに紙面等を工夫して公民館の活動を地域住民へ発信し、地域の多くの人々が「公民館だより」が志津公民館を利用できるよう、努力していきたい。

6. 図書事業

図書等の貸し出し

- 内 容 図書資料やビデオなどの貸出事業を行う。
- 蔵 書 数 300 冊
- 実施期間 通年（公民館開館時間）
- 貸出方法 1 人 5 冊
- 貸出期間 2 週間
- 年間貸出数 一般 15 点
児童 0 点
DVD 2 点
計 17 点（内、視聴覚資料 2 点）